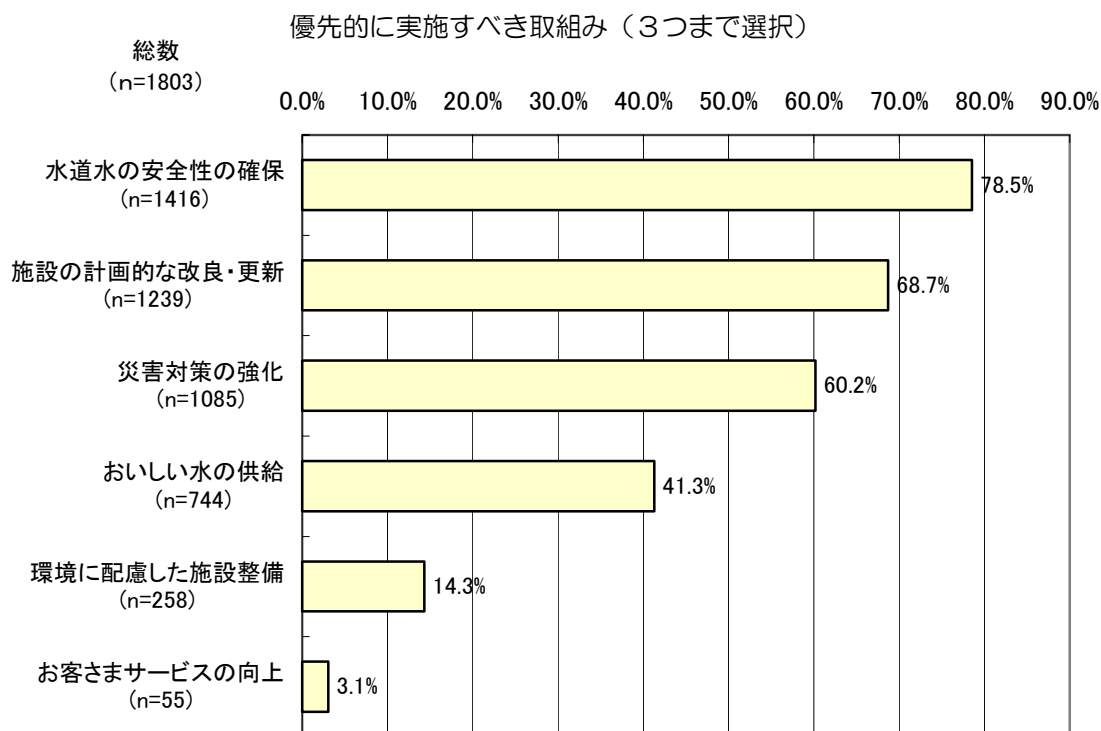


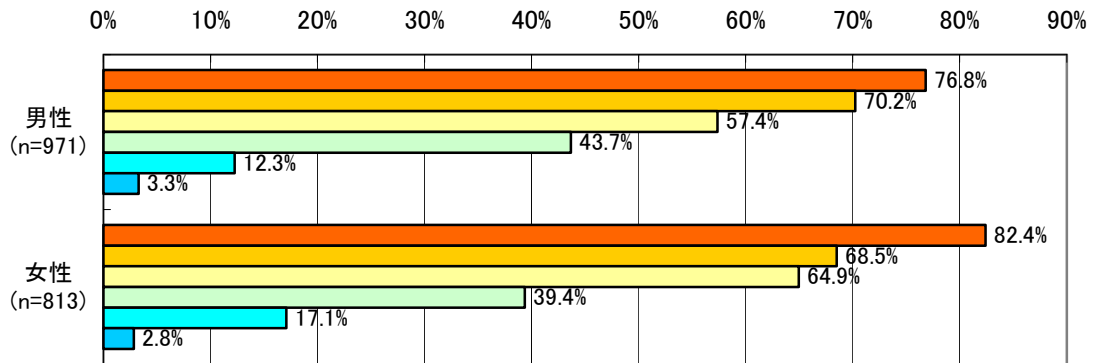
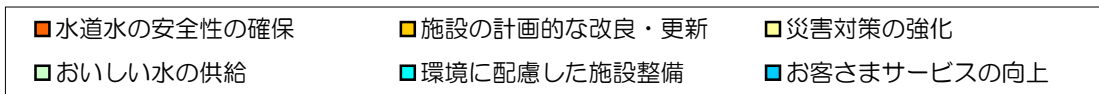
8 水道局が今後優先して実施すべき取組み

問8 今後の水道事業の取組みについて、適切なコストをかけて優先的に実施すべきと思う取組みを次の1から6の中から3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み
- 2 水づくり工程の改善などおいしい水を供給するための取組み
- 3 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化
- 4 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み
- 5 コールセンターの設置や支払方法の拡充などお客さまサービスの向上
- 6 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備



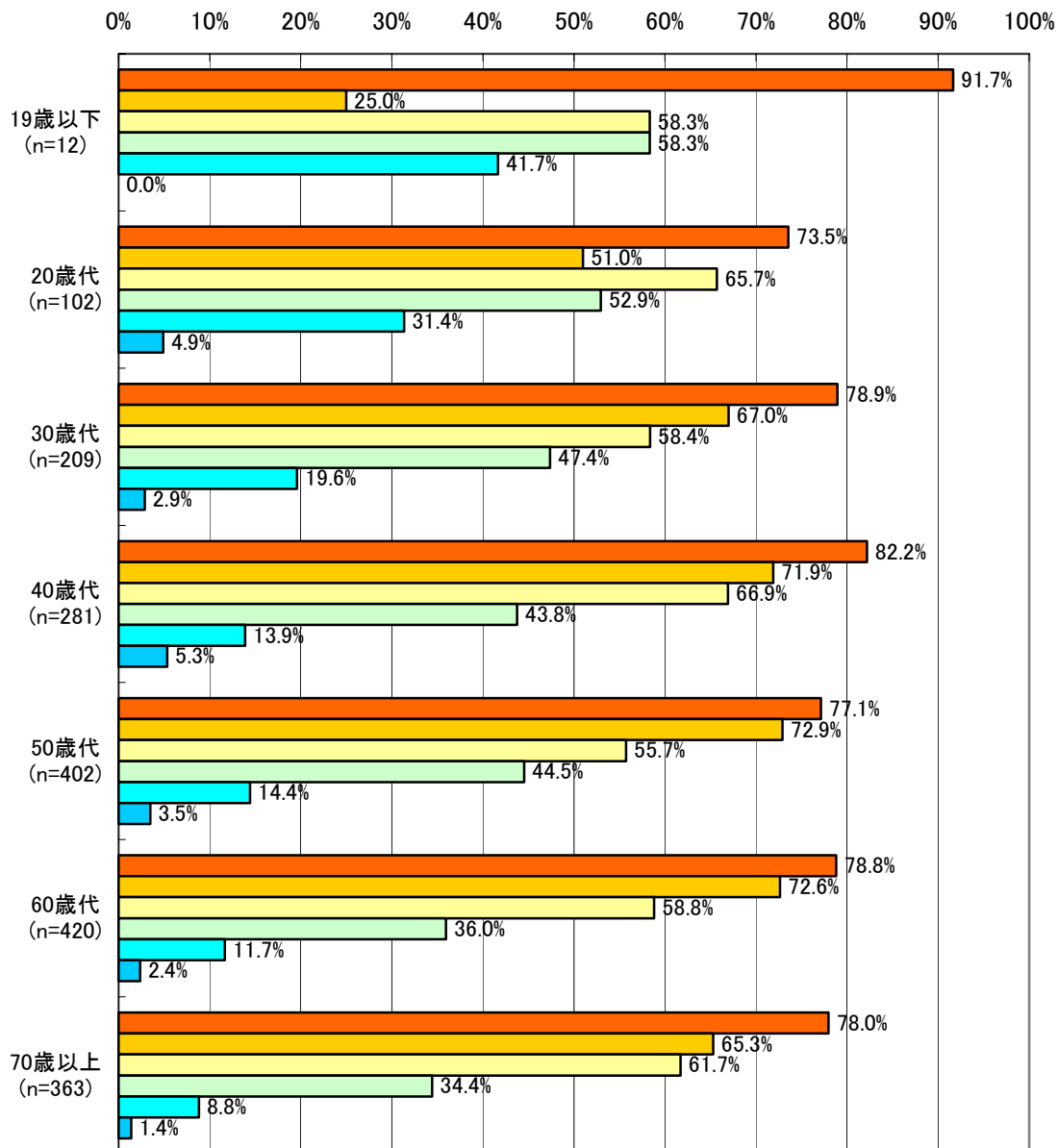
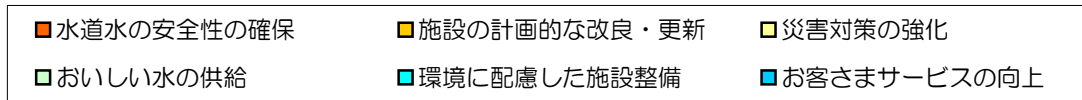
今後適切なコストをかけて優先的に実施すべき取組みについては、『水道水の安全性の確保』が最も多く78.5%、以下『施設の計画的な改良・更新』の68.7%、『災害対策の強化』の60.2%、『おいしい水の供給』の41.3%とつづく。



性別では、取組の優先度の傾向については男女間に違いはみられなかったが、それぞれの取組みに対する優先度の割合にはそれぞれ特徴がみられる。

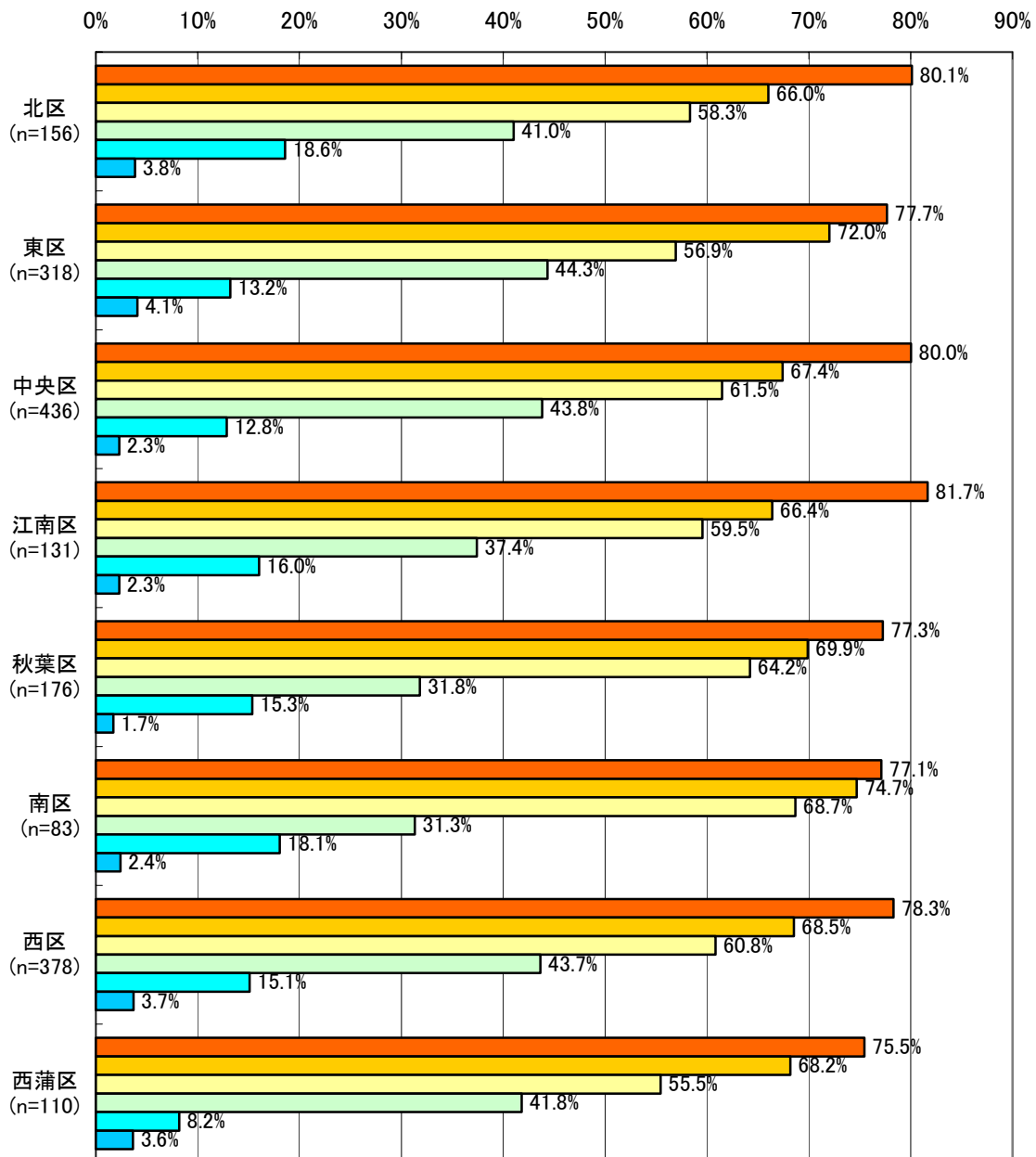
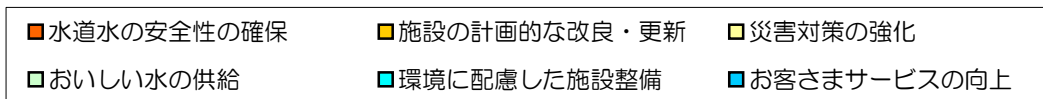
女性では、『水道水の安全性の確保』に対する優先度の割合が80%を超えており、男性の同取組みに対する優先度と5.6ポイントの差がみられたほか、『災害対策の強化』についても男性より7.5ポイント高かった。

一方、男性では、『おいしい水の供給』への優先度の割合が43.7%で、女性より4.3%高かった。



年齢別では、『水道水の安全性の確保』という回答がどの年代においても最も多い。

19歳以下及び20歳代では、『施設の計画的な改良・更新』と答えた人の割合が他の年代と比べて低くなっている、また、年齢層が若いほど、『環境に配慮した施設整備』という回答の割合が高くなっている。



すべての区において、『水道水の安全性の確保』という回答が最も多く、ついで『施設の計画的な改良・更新』、『災害対策の強化』の順となっており、区別による大きな差は見られない。